

歴史・文化拠点の景観形成基準に対する措置状況説明書（建築物の建築等）

当該行為における景観形成の考え方	
記載欄	
外観	
	光沢のある材質を避け、落ち着いた色彩とするなど歴史や文化を感じる資源との調和に努める。
記載欄	
高さ・規模	
	寺社の背景となる緑から突出しないよう高さを抑えるなど、寺社景観の保全に努める。
記載欄	
緑化・植栽	
	敷地内はできる限り植栽し、歴史や文化を感じる資源との調和に配慮する。
記載欄	
外構	
	歴史や文化を感じる資源と調和した外構計画に努める。
記載欄	
上記以外で特に景観に配慮した事項	